



校訓

「夢を持って歩み続ける」

# 陽光

令和6年11月1日 第15号 文責 梶原 圭一



## 夢を語る ランチミーティング

後期のスタートに当たり、「こんな学校にしたい」という子どもたちの思いを大切にしながら教育活動をさらに進めたいと考えています。本校の6年生は、学校のリーダーとして、様々な場面で活躍してくれています。特に委員会活動では、自分たちの仕事に責任をもち、みんなが安全で安心して学校生活を送ることができるように頑張ってくれています。その委員会の委員長たちと一緒に給食を食べながら、目指す学校の姿について語り合うランチミーティングを行いました。

「あいさつの声が聞こえる学校にしたい」「きれいな歌声が響く学校にしたい」「みんなが本を読んで好きになってくれる学校にしたい」「いじめや差別がなくて、みんなが安心して生活できる学校にしたい」など、それぞれの委員長の学校を思う気持ちやしっかりとした考えを聞き、感動しました。また、その実現に向けてやってみたい活動は、どれも心躍るものばかりで驚かされました。「みんなの考えた活動をぜひ実現してほしい」と伝えるとともに、しっかりサポートしていきたいと思いました。

校長室で給食を食べるということで初めての経験だったでしょうが、「校長先生への質問タイム」で緊張もほぐれ、楽しく語り合うことができました。委員長の皆さん、素敵なお時間をありがとうございました。



## 自己の生き方を考える福祉体験学習



4年生の総合的な学習の時間で、福祉体験学習を行いました。高齢者疑似体験、アイマスク、車いす等の演習を通して、様々な境遇にある方に自分は何ができるのかを考え、相手の気持ちや立場にたった思いやりのある接し方を実践できるようになることをねらいとして計画しました。今回の学習に際し、社会福祉協議会や多数の民生委員の方々にご指導並びにご協力いただきました。相手の立場や気持ちを考えて対応することの難しさと同時に、コミュニケーションの大切さを学ぶ場となりました。この体験から学んだことを、将来の生き方に生かしてほしいと思います。

## バケツ稻 収穫ができました！



5年生が6月下旬にバケツに苗を植え、育ててきたバケツ稻が収穫の時期を迎えるました。バケツ稻の実践は、水の管理等、なかなか難しいのですが、地域学校協働活動推進員やお世話いただいた方々のご協力により、お米を収穫することができました。鎌を使う経験もほとんどない子どもたちですので、緊張しながら稻に刃を入れていました。刈り取った後は、「できた！」「獲れたぞ！」とあちらこちらから歓声が上がりいました。今回の取組を通して、食べ物のありがたさや農家の方々の思いを再認識できたことだと思います。収穫したお米は、みんなで味わうことでしょう。

### 【お知らせ】

地域の企業様から、除菌・抗菌のミストが出る機器を学級数分いただきました。これから様々な感染症が流行する時期になります。職員で活用方法等を共有し、様々な場面で有効に活用させていただきたいと思います。本当にありがとうございました。

